



「文化・芸術の秋」作品に思いを込めて

6日の全校集会では、これまで各種コンクール等に応募した作文や俳句作品の入賞者を表彰しました。子どもらしいみずみずしい感性が生きる作品の数々。日常の思いを文字にすることは、自分の内面を振り返り、新たな自分に気づいたりこれからの自分をイメージしたりするなど、より深い学びにつながります。授業においても、最後の振り返りで、学んだことや学んだ過程を書いたり発表したりすることを大切にしています。様々な場面を通じて自己表現する力を育てています。

< 第38回 福島市俳句コンクール >

入選 4年 半沢柚稀 『 まっ黒だ 思い出残る 水着あと 』

※夏休みに目標を決めて何度もプールに通った成果が水着の跡に現れています。お友達や家族と楽しく泳いでいる姿や歓声が聞こえてくるようです。これからも健康で元気に育ってほしいと願います。



佳作 4年 坂野奏太 『 妹の 泣き声響く 夏休み 』



※夏休みに入った暮らしの様子がしっかり伝わってきます。夏休みに入りおにいちやんのそばを離れない妹さんの様子が目に浮かびます。でも、自分の思うように行かないと泣き叫ぶ妹さん。妹へのやさしさが感じられる句となっています。

< 第52回 福島地区児童作文コンクール >

入選 1年 清野 陽菜	はじめてみたセミのうか	2年 本間 宥樹	ザリガニの水そうじ
3年 国分なつみ	自分と家族を見つめて	4年 齋藤 凜	わたしの夢
5年 新田ひより	盲導犬について	6年 菅野惺矢	夏休みの思い出

福島市学校総合文化祭 図工・美術作品展 開催中 !

現在、子どもの夢をはぐくむ施設 こむこむ において、これまで図画工作の時間に制作した作品が展示されています。本校からは、7名の児童作品を出品しています。どの学校の作品も力作ぞろいです。どうぞ御鑑賞ください。12日(月)までです。

<本校からの出品者名>

- 1年 菊田 瑛音
- 2年 谷口 滉
- 3年 曲山 綾香
- 4年 栗原 紗香
- 5年 半澤 瑠華
- 6年 菅野 はるか
- 長沢 一花



「なんでもでてくる たまご」

2年 谷口 滉さんの作品



「あさがおからのおくりもの」

6年 菅野はるかさんの作品